

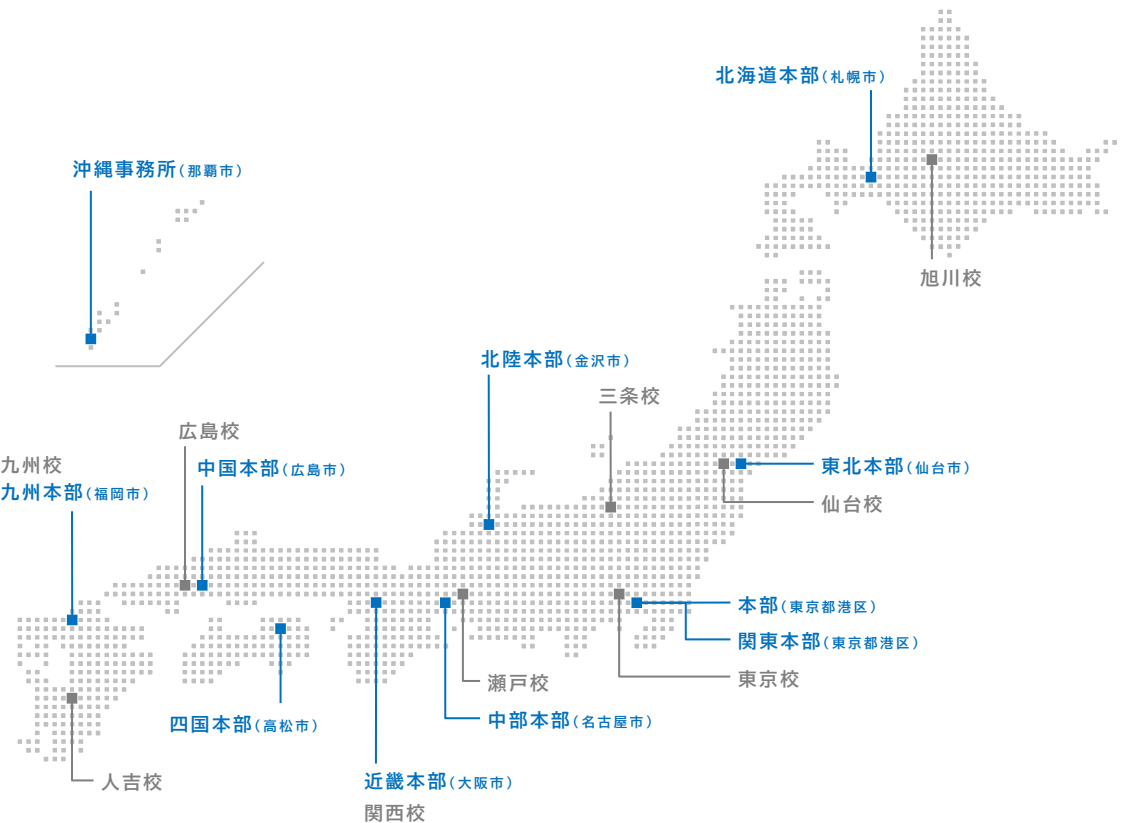
中小機構のカーボンニュートラル支援

中小機構 九州本部
企業支援課

中小機構とは

中小機構は、中小企業や地域社会の皆様に多彩なサービスを提供することを通じ、豊かでうるおいのある日本を作るために、貢献致します

概要	
名称	独立行政法人中小企業基盤整備機構 (略称: 中小機構)
主務大臣	経済産業大臣 (一部の業務については財務省と共管)
設立年月	2004年7月
職員数	役員 13名 職員 813名 (2024年4月1日現在)
所在地	東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル



企業の成長段階に応じて総合的な経営支援を実施します

ステージ共通

- › 経営相談
- › ハンズオン支援
- › 資金支援
- › 情報提供
- › 人材育成支援(研修)
- › 震災復興支援

起業・創業期

- › インキュベーション
- › FASTER
- › スタートアップ挑戦支援
- › TIP*s・BusiNest
- › Japan Venture Awards

成長・発展期

- › 販路開拓・マッチング支援
- › 海外展開支援
- › 生産性向上
- › デジタル活用
- › ものづくり支援

成熟期

- › 事業承継・引継ぎ支援
- › 事業再生支援
- › 小規模企業共済
- › 経営セーフティ共済
- › 事業継続力強化支援

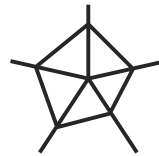
脱炭素経営に向けた取り組みを後押し・・・

サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル達成に向けた対応が求められる中、
中小機構は、中小企業・小規模事業者のカーボンニュートラル実現に向けた活動を支援します。



知る
(認知・理解)

脱炭素社旗に向けた世界の動向やカーボンニュートラルの取り組み方について、情報提供や窓口相談を行っています。



測る
(現状把握)

自社の現在のエネルギー使用状況やそれに伴って発生しているCO₂排出量の把握をサポートします。



減らす
(計画策定・実行)

カーボンニュートラルの実現に向けた実行計画の策定や具体的なアクションをハンズオンで支援します。

情報提供

相談窓口
診断・助言
ハンズオン支援

中小企業の経営に役立つ情報を・・

全国の支援情報や経営に役立つQ&A、事例を紹介する「J-Net21」の特集ページでカーボンニュートラル実現を応援する公的支援を紹介しています。



支援情報 ヘッドライン

2000を超える全国の補助金、助成金、セミナー、イベントとった国・自治体情報を検索できます。

ビジネス Q&A

ビジネスのさまざまな場面で生じる疑問に専門家が回答しています。500超のQ&Aを公開中。

起業・創業

3000以上の業種から選べる開業ガイドや開業までのマニュアル等を掲載しています。

事例紹介

DXやGX、事業承継、価格転嫁、人手不足対応など、中小企業の取組事例を紹介しています。

情報提供

相談窓口

診断・助言
ハンズオン支援
問い合わせ先

カーボンニュートラル相談窓口

専門家の相談したいときは・・

カーボンニュートラルについて悩みや疑問のある方のために
専門家に対面またはオンラインで相談できる「カーボンニュートラル相談窓口」を設けています。

対 象	カーボンニュートラルに取り組みたい中小企業
回 数	何度でも（1回あたり1時間）
費 用	無料
相 談 例	・ 当社の場合、何から始めればよいのか？ ・ CO₂排出量はどのように調べたらよいのか？ ・ 取引先へのアピールはどのようにするとよいのか？ ・ SBTやRE100に加入するとどのようなメリットがあるのか？
申 込 み	中小機構のホームページで相談日を案内しています。 事前予約制のため、申込フォームからお申込みをお願いします。 https://www.smrj.go.jp/regional_hq/kyushu/sme/consulting/index.html



情報提供
相談窓口

診断・助言

ハンズオン支援
問い合わせ先

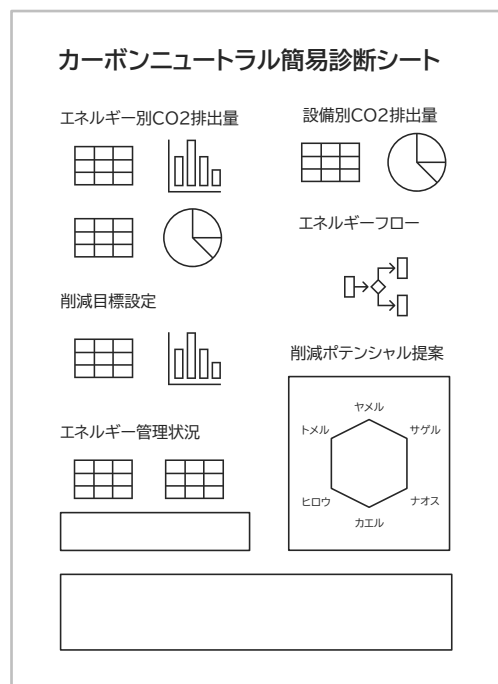
カーボンニュートラル診断

CO₂排出量の算定で困っているときは・・・

カーボンニュートラルの実現に向けて、
専門家が事務所や工場の現状を診断し、CO₂排出量の算出や削減目標値の設定を支援します。

対 象	自社のCO ₂ 排出量を知りたい中小企業 取引先からCO ₂ 排出量算定を求められている中小企業		
回 数	3回		
費 用	無料		
診 断 内 容	事務所や工場のエネルギー使用の現状を分析 CO ₂ 排出量の算定結果や削減に向けた対策案を診断レポートとして提供		
イ メ ージ	STEP 01 ヒアリング・現場調査 現場調査を行い、チェックシートを作成し、CO₂排出量算定のポイントや算出方法を説明します。	STEP 02 関係者打合せ CO₂排出量チェックシートから現状確認や課題整理を行います。	STEP 03 診断結果報告 整理した課題からCO₂排出量削減目標値を設定し、今後の削減行動を検討します。

CO₂排出量を把握し、対策立案をサポート



ヤメル

なぜこの設備が必要なのかを考え、不要なものは廃止

- ・ 照明の間引き
- ・ 配管経路の短縮
- ・ 待機運転の削減
- ・ 大空間の全体空調見直し
- ・ 通路部分での空調廃止

サゲル

設備の運転条件を見直し、圧力や空調負荷などを低減

- ・ エアや蒸気の圧力低減
- ・ 加熱温度の低減
- ・ ポンプの処理量の低減
- ・ 蛇口からの出水量の低減
- ・ 空調機フィルター清掃
- ・ 設定温度・時間の適正化

ナオス

設備の作動状況を確認し、不具合箇所の修正

- ・ エア洩れの修理
- ・ バキューム配管の修理
- ・ 断熱材の剥がれ修理
- ・ ドレンや冷媒配管の修理
- ・ エアカーテンの修理
- ・ 空調機フィルターの交換

トメル

実際には働いていない設備の停止

- ・ エアブローの間欠化
- ・ ライン停止時の運転停止
- ・ コンプレッサの空転防止
- ・ 人感センサーの照明制御
- ・ 不在室の照明・空調オフ
- ・ 変圧器の開放

カエル

省エネになる設備機器やエネルギーへの変更

- ・ ヒートポンプへの変更
- ・ インバータ機器への変更
- ・ 省エネランプへの変更
- ・ 駆動制御方式の変更
- ・ トップランナー機器採用

ヒロウ

棄てるモノに潜んでいるエネルギーを回収・再利用

- ・ 排ガスや温水の回収
- ・ 予熱の利用
- ・ 分別回収
- ・ リサイクル配慮設計

情報提供
相談窓口
診断・助言

ハンズオン支援

問い合わせ先

経営課題解決のための踏み込んだ支援

全社的な事業戦略の実行や、売上拡大・生産性向上に向けた総合的な経営課題の解決のために、長期間・継続して専門家を派遣します。
状況に応じたタイムリーで適切なアドバイスで、成長・発展をサポートします。

対 象	新事業展開・経営基盤強化に積極的に取り組まれる中小企業 今後の成長が期待されるベンチャー企業
期 間 ・ 日 数	10ヶ月・20日程度（月2～3日）
費 用	17,500円（専門家1名・1日あたり）
専 門 家	大手企業で経営幹部などの経営経験が豊富な方や、中小企業診断士、公認会計士、弁護士、弁理士 中小企業の育成・支援の第一線で活躍している支援経験豊富な専門家
テ ー マ 例	経営戦略 新事業開拓 営業・マーケティング 財務・会計 現場改善・生産性向上 ・・・ 経営ビジョン策定 事業計画策定・実行 ・・・ 新技術・新用途・試作品の開発 知的財産戦略の構築 ・・・ 営業戦略の構築 ブランド構築 組織的営業力強化・新規顧客開拓 ・・・ 月次決算の早期化・精度向上 原価管理 予算実績管理 ・・・ 品質管理体制の構築 見える化・適正化 生産計画の精度向上

企業の実態を踏まえた課題解決の応援

現場観察や経営者・部門責任者の方々へのインタビューを実施して課題の設定、支援の具体的な提案を支援開始前に行います。

「支援計画書」に基づいて、専門家からアドバイスをを行い、進捗状況を支援チームがフォローすることで支援を進めていきます。



訪問調査 インタビュー

現場確認やインタビューで経営課題を確認します。ハンズオン支援についても詳しく説明します。



経営課題の 掘り下げ

課題を掘り下げて、適切な支援テーマ・目標を検討します。
企業の皆さまと認識のすり合わせも行います。



支援計画の提案 マッチング

「支援計画書」を提案します。アドバイザー候補者を交えて意見交換をして、関係者で合意した上で支援を開始します。



キックオフ 支援実施

関係者が全員集まってキックオフミーティングを行い、活動を開始します。プロジェクトの節目で中間調査を実施する場合があります。



成果検証 フォローアップ

最終回にプロジェクトチーム主催の報告会を実施します。
支援終了後は成果確認の調査を行い、必要に応じて継続した新たな支援を提案します。

カーボンニュートラル実現を支援

実際に行動に移す企業にハンズオン支援で中長期計画の立案や投資対効果の調査、短期的な省エネ改善など、企業の課題に応じた支援を行います。

ハンズオン支援の例

STEP

01

CO₂排出量の算出

過去5年間の電力、プロパンガス、ガソリン/軽油、上下水道の数値の洗い出しと請求書・メーター読みを行い、エネルギー使用量を算出。CO₂排出係数をもとにエネルギーごとのCO₂排出量を確定。

STEP

02

実測確認

QC工程表を活用し、工程ごとのマテリアルフロー(要員、時間、原材料、エネルギー、廃棄物)を作成。プロセス上の課題を見える化。主要ユーティリティ(空調、チラー、ポンプ等)に電力測定器を設置し、実際の電力量を把握。

STEP

03

削減ターゲット調査

エネルギー使用量と実測値からエネルギーフロー図を作成し、削減ポイント検討。電力消費量の多いラインの調査を実施。天気・外気温との相関関係や給気ファン、排水処理ポンプの電力量を確認。

STEP

04

課題抽出・対策立案

カーボンニュートラル対策組織やエネルギー管理部門の組織化、設備運転の改善・更新の検討、サイクルタイムの改善、ラインの電力消費対策等の課題の洗い出し。対策について、費用面、効果面、難易度から優先順位と実施時期を決定。

STEP

05

ロードマップ作成

2030年までにCO₂排出量を50%削減するカーボンニュートラル対策ロードマップを作成。

ハンズオン支援を活用された企業の声



ハンズオン支援事例集



ハンズオン支援 紹介動画



相談窓口
診断・助言
ハンズオン支援

問い合わせ先

問い合わせ先

中小機構 九州本部 企業支援課

電話番号

 092-263-0300

所在地

〒812-0024 福岡県福岡市博多区綱場町2-1 博多FDビジネスセンター3階

URL

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/kyushu/index.html

